



# 三本桜

第22号

ふかく考える子      あたたかみのある子      がんばりのきく子  
11月の目標：外で元気に遊ぼう

## 選ぶ力

立冬を過ぎました。暑いと感じる日が続いていましたが、冬の訪れを感じるようになりました。寒暖の差が激しい季節でありますので、体調管理には十分にご留意ください。

さて、授業中にある教室をのぞいてみると、子どもたちがどちらの方法を選択するとよいのか、自分の考えを基に議論をしていました。自分の考えを筋道立てて仲間に伝える姿は大変立派でした。

子どもたちは、これから先何事にも「選ぶ」ことが数多く待っています。そして、ある事柄を選択する際、人はさまざまなことを考えます。「こっちの方がベストだ」と考え、自分で考えた「よりよい道」を選んでいきます。選んだ結果どうなるかは、当然その人のそれからの行動や考え方で変わってきますが、それなりの結果が表れてきます。

選んだ道が結果としてどうだったか、自分にとってベストだったかどうか等々。つまり、自分にとってベストな「道」を「選ぶ」力こそ「よりよく生きていく力」だと言えるのではないのでしょうか。

新しい知識・技能を身に付けることも学校教育の中ではとても重要なことですが、ある事柄に関して、自分がどのような行動をとればいいかを考え、選び、そして行動する力を身に付けることも学校教育の中ではとても大事なことです。

子どもたちには日々の学校生活の中で、ぜひともこの「選ぶ」を身に付けていってほしいと願います。

## 体験を通して

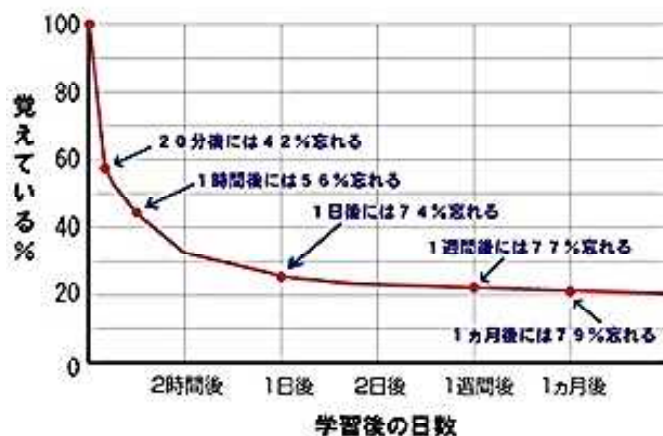
今から約2500年前の中国の思想家、老子の言葉に「聞いたことは忘れる。見たことは覚える。やったことは分かる」というものがあります。また、それを受けて、アメリカの研究者が行った、「学んだことをどれくらい覚えているか」という記憶の調査では、「聞いたことは10%、見たことは15%、聞いて見たときは20%、話し合ったときは40%、体験したときは80%」という結果だったそうです。

受動的なものより、能動的で多くの感覚を使った経験の方が、より鮮明な記憶となって残ります。保護者の皆様もご自身の子どもの頃の記憶を振り返られると、頷かれることでしょう。



もう一つ、記憶に大きく関係する話として、ドイツの心理学者 エビングハウスの忘却曲線をご紹介します。エビングハウスは、自ら「子音・母音・子音」から成り立つ無意味な音節（rit、pek、tas…）を記憶し、その再生率を調べ、この曲線を導いたそうです。結果は右図のグラフのようになりました。20分後には58%、1時間後には44%、1日後には26%しか思い出せず、1週間後には23%、1か月後には21%まで記憶が減ってしまったということです。

エビングハウスの忘却曲線



新しいことをどんどん聞いても、聞いただけでは定着せず、意味がないことになってしまいます。人間は忘れるということを前提として、学習活動を計画する必要があります。教室で学んだことを宿題などで繰り返し復習し、更に体験を通して学び直すことで、記憶を強化することができます。これからも、子どもたちの豊かな学びのため、ご協力をお願いします。

### 授業参観 よろしくお祈いします

11月16日（土）は、別紙でお知らせしたように授業参観を行います。ぜひお子さんの学ぶ姿をご参観ください。その際、お気づきのこと等がありましたら、担任、学年主任までお伝えください。なお、上履きをご持参の上、徒歩または自転車でご来校ください。よろしくお祈いします。



### マイコプラズマ感染症に注意！

11月に入り、気温差や疲れのためか発熱、かぜ症状での欠席者が増えてきました。その中でマイコプラズマ感染症と診断されるお子さんがいます。長引く咳と熱があがったりさがつたりするので受診したところ、そう診断されるケースが多いようです。咳が長引き、ひどい時は、大丈夫と思わず、必ず受診をするようお祈いします。



#### マイコプラズマ感染症とは

咳を主症状とし、学童期以降の細菌性肺炎としては最も多くなっています。夏から秋にかけて多く、家族内感染や再感染も多くみられます。10～15歳によくみられます。成人も罹患します。

#### 予防に心がけましょう！

- ・手洗い、うがいをすること
- ・朝、熱のある時は、無理をせず、しっかり休養をとること